

その「物語」、の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.159

a taste of Ya ssy

田中 康夫

たなかやすお●56年東京生まれ、作家。「00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選。'09年に衆議院議員に当選、1期務める。小説『33年後のなんとなく、クリスタル』を11月25日に河出書房新社から上梓。【公式ブログ】<http://www.nippon-dream.com/>



Missy

ヒルサイドテラスは、建築主のみならず利用者にとっても近隣にとっても、そして通行者にとっても建築家にとっても“ハッピーな建造物と言えます。

30年の歳月を費やし、街並みが作られました。「ル・ブティ・ブドン」が位置するのは、1998年に竣工したビルサイドウエスト。駐日本マーク大使館を含む、一連のビルサイドテラスからは数百メートル離れています。

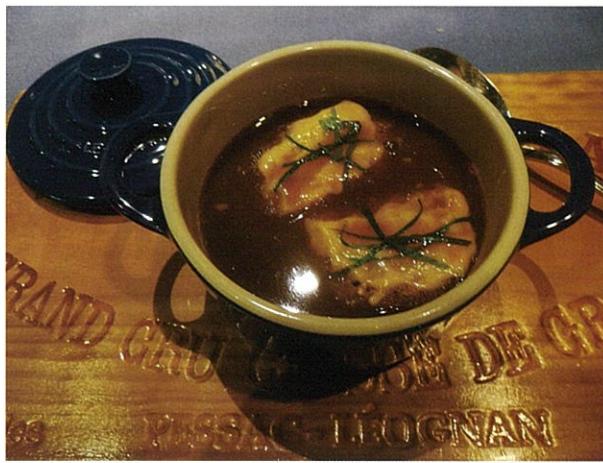
とまれ、その設計を担当した建築家の榎文彦氏は、「都市で道を歩く人間にとて最も大事なのは、建物群の高さ15m位までの部分と人間のアソシエーションである」と昨年、警句を発します。「日本の

忠雄審査委員長が最優秀賞に推したザハ・ハディド女史の新国立競技場の設計案に対し、数多くの建築家も同様の見解を表明。当初の総事業費1300億円には現競技場の撤去費用も設計監理料も含まれていないと判断するや唐突に3000億円へと倍増。更なる批判を浴びると再び1600億円に半減。定見の無さを指摘された文部科学省は責任転嫁でハディド女史に矛先を向け、「修正案」の提出を求めます。

能な立体的な棧敷を。17日間の会期終了後は50に分解し、全国各地に分散移設。
成る程、出場選手が0・001秒を競う場を数千人が開会式で歩くのは、フィールドへの負荷と冒瀆に他ならず。アドルフ・ヒトラーのベルリン大会から中国共産党の北京大会に至る「国威発揚」から決別した新しい五輪開会式・閉会式を創出する好機。ロッタ同伴で訪れたル・プティ・ブドンで、秀逸な提案と改めて実感ね。

「国威発揚」から決別した、新しい五輪開会式・閉会式を創出する好機

今週の逸品



**マルセイユ風お魚のスープ クルトンとアイオリ添え
900円**

屋内にベット同伴可能ナル・ブティ・ブドン。午餐は1900円～4900円の定食を用意。晚餐は前菜・主菜・食後で5500円、前菜・汁物・主菜・食後の6300円、主菜2品の8300円、前菜・主菜が共に2品の10500円。前菜・主菜はアラカルトの中から各自が選択。食後はワゴンサービスから3品を選択。写真は南仏の薫りのスープ。ワインも豊富で適應。愛犬＆家族で訪れるグラムメンジン的空間なれどリラックスした得難き時空。

[ル・ブティフドン] 東京都渋谷区鉢山町13-13 ヒルサイドウエストB1 ☎03-5457-0086 営11:30~16:00(LO14:30)、
18:00~24:00(LQ22:00) 水曜定休 落燈 ベット同伴可 <http://www.pachon.co.jp/inn/petit-heden/>

illustration by Hajime Anzai

それに現在 東京オペラシティのアートギャラリーに掲出されています。磯崎新氏の慨嘆を再録すれば「まるで列島の水没を待つ亀のよくな鉛重な姿」而してバルセロナ夏季五輪、トリノ冬季五輪の主要競技施設を設計した磯崎氏は先日、有楽町の日本外国特派員協会で会見に臨み、以下の指摘と提案を行いました。